

## M3T-MR32R ご使用上のお願い

-- ランデヴ呼び出し、ランデヴ受付、および可変長メモリを獲得するタスクを  
強制待ち状態に移行させる場合の注意事項 --

M32Rファミリ用リアルタイムOS M3T-MR32Rの使用上の注意事項を連絡します。

- ランデヴ呼び出し、ランデヴ受付、および可変長メモリを獲得するタスクをisus\_tskシステムコールで強制待ち状態に移行させる場合の注意事項

### 1. 該当製品

M3T-MR32R V.3.00 Release 1 ~ M3T-MR32R V.3.50 Release 2

### 2. 内容

発生条件を満たす場合、isus\_tskシステムコールの対象タスクが2重待ち状態に移行しません。

### 3. 発生条件

以下3点の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) あるタスクから以下のいずれかのシステムコールを発行する。  
acp\_por, tacp\_por, cal\_por, tcal\_por, get\_blk, およびtget\_blk  
これらが発行したタスクは待ち状態に移行する。
- (2) (1)で示したシステムコール実行中に起動した割込ハンドラ内でisus\_tsk システムコールを発行する。
- (3) (2)で発行したisus\_tskシステムコールの対象タスクが、(1)で示した システムコールを発行したタスクである。

### 4. 回避策

次のいずれかの方法で回避してください。

- (1) システムコールacp\_por, tacp\_por, cal\_por, tcal\_por, get\_blk, および tget\_blkの発行前後で割込禁止と割込許可を実施してください。

例

```
-----  
void task(INT stacd)  
{  
    .....  
  
    /*割込禁止処理*/  
    asm(" mvfc    R0,PSW¥n"  
        " and3    R0,R0,#0xFFBF¥n"  
        " mvtc    R0,PSW¥n");  
  
    ercd = cal_por((VP)msg,&size,ID_por2,0x1,7);  
  
    /*割込許可処理*/  
    asm(" mvfc    R0,PSW¥n"  
        " or3     R0,R0,#0x0040¥n"  
        " mvtc    R0,PSW¥n");  
  
    .....  
}
```

(2) 次の手順でタスクを強制待ち状態にしてください。

1. ista\_tskシステムコールを発行して、強制待ち状態にするタスクを起動する。
2. 上記のタスクからsus\_tskシステムコールを発行する。

例

```
-----  
void handler(void)  
{  
    .....  
  
    /* isus_tskをコメントアウトして、ista_tskで強制待ち状態にする  
       タスクを起動します。  
       対象タスクIDは、起動コードとしてista_tskに渡します。 */  
  
    /* isus_tsk( ID_task1 ); */  
    ista_tsk( ID_DoSuspend,(INT)ID_task1 );  
  
    .....  
}
```

```
}
```

```
void DoSuspend(INT tskid)
```

```
{
```

```
    sus_tsk(tskid);
```

```
}
```

```
-----
```

## 5. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

---

### **[免責事項]**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.